

完了後の評価個表

整理番号	2
------	---

事業名	民有林補助治山事業 (地すべり防止)	都道府県名	北海道
事業実施地区名	藤崎の沢 (ふじさきのさわ)	事業計画期間	平成12年度～平成27年度(16年間)
関係市町村名	むかわ町	事業実施主体	北海道
完了後経過年数	5年	管理主体	北海道
事業の概要・目的	<p>本地区は、むかわ町^{ほべつ}穂別市街地より道道穂別^{ほべつむかわせん}鶴川線を北へ15kmにある^{いなさと}稲里集落の一級河川穂別川に面する森林に位置している。</p> <p>平成10年8月に地すべり地頭部の山腹崩壊が発生し、それに伴い直下の地すべり活動が活発化した。平成11年度に地すべりの全体調査を行い、継続的な地すべり活動を観測し、また、現地踏査の結果、隣接地においても過去に発生した地すべり活動が認められ、土砂が穂別川まで流出した形跡が確認された。このことから、人家や道路等を保全することを目的とし、平成12年度から地すべり防止事業を実施した。</p> <p>なお、本地区は、Ⅰブロック・Ⅱブロック・Ⅲブロックの3つの地すべりブロックに区分され、全体の幅は約700m、斜面長は最長の箇所でも200m、施工面積は約16haとなっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主な事業内容：集水井工6基(69.5m)、暗渠工(集水ボーリング等)11,067.5m、水路工1,626.8m、護岸工373.3m、土留工82.0m、排土工21,449m³、緑化工20,650.7m² ・ 総事業費：1,220,863千円(税抜き：1,158,294千円) (平成22年度評価時点 総事業費：1,081,455千円(税抜き：1,029,957千円)) 		
① 費用便益分析の算定基礎となった要因の変化	<p>本事業の費用便益分析における便益は災害防止便益であり、本便益は、地すべり対策工の施工により、地すべり活動や土砂崩壊の防止を図り、人家や道路といった保全対象を山地災害から保全する効果を算定したものである。なお、算定基礎となる保全対象である人家の戸数や道路の延長等に特段の変化は見られない。</p> <p>総費用及び総便益は、現在価値化の計算により、前回評価時点と比べ増加している。更に、総便益は、保全対象の評価額上昇によるものも含まれる。</p> <p style="margin-left: 20px;"> 総 便 益 (B) 2,587,568千円 (平成22年度評価時点：1,595,523千円※) 総 費 用 (C) 1,824,180千円 (平成22年度評価時点：1,174,353千円※) 分析結果 (B/C) 1.42 (平成22年度評価時点：1.36※) </p>		
② 事業効果の発現状況	<p>本事業の実施により、地すべり活動の防止及び斜面荒廃地の緑化が図られ、人家や道路等が保全されている。</p>		
③ 事業により整備された施設の管理状況	<p>本事業により整備した治山施設については、北海道において定期的に点検を行い、必要に応じて補修等を実施して適切に管理している。</p>		
④ 事業実施による環境の変化	<p>本事業実施後の大雨等でも地すべり活動は確認されておらず、緑化工による植生も良好な生育をしており、土砂崩壊防止が図られている。</p>		

整理番号	2
------	---

<p>⑤ 社会経済情勢の変化</p>	<p>本事業実施後、平成30年に胆振東部地震が発生した。むかわ町市街地等では被害が発生したものの、本地区においては発生しなかった。保全対象に特に変化はなく、本事業によって人家や道路等の保全が図られている。</p> <p>主な保全対象：人家55戸、道路（町道）250m、農地（農業施設含む）10.5ha、一級河川穂別川</p>
<p>⑥ 今後の課題等</p>	<p>本事業で整備した施設により、地すべり防止効果が発揮されており、現時点では施設の劣化等はなく、地元から追加整備の要望もないことから、改善措置等の必要性はないと考えられる。</p> <p>施設による効果を長期に発揮させていくため、今後は、定期的な点検と適切な維持管理に努めていく必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元の意見 本事業の実施により、藤崎の沢周辺集落のほか、地域の生活道路である町道の安全が確保された。引き続き、地域における災害防止のための治山対策の実施をお願いしたい。（むかわ町）
<p>評価結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性：地すべり活動の活発化により土砂等の河川への流出の可能性があったことから、地元からの対策の要望や過去の災害状況等を踏まえ、森林の有する山地災害防止機能を高度に発揮させることにより、国土の保全と民生の安定に資するため、事業の必要性が認められる。 ・効率性：対策工の計画に当っては、地すべりブロック頭部を排土することにより地すべり末端部に設置した土留工の規模を縮小したなど現地に応じた最も有効かつ効率的な工種・工法によりコスト縮減を図りつつ施工され、事業の効率性が認められる。 ・有効性：地すべり末端部の護岸工、土留工による不安定土砂の安定化、集水井工等による地すべり地外への排水、伏工等による斜面荒廢地の緑化により保安林の機能の向上が図られている。今後も事業の効果が継続することが見込まれ、現在も民生の安定や道路通行の安全が確保されていることから、事業の有効性が認められる。

※平成22年度評価時点における数値については、消費税を含んだ数値である。

様式1

便 益 集 計 表
(治山事業)

事業名：地すべり防止事業
 施行箇所：藤崎の沢

都道府県名：北海道
 (単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
災害防止便益	山地災害防止便益	2,587,568	
総 便 益 (B)		2,587,568	
総 費 用 (C)		1,824,180	
費用便益比	$B \div C = \frac{2,587,568}{1,824,180} = 1.42$		

評価箇所概要図

整理番号	2
------	---

北海道

事業名	民有林補助治山事業(地すべり防止)	地区名	藤崎の沢
-----	-------------------	-----	------

